

平成29年度北部地区労働衛生管理推進大会が 開催されました

平成29年度の北部地区労働衛生管理推進大会（共催：（一社）沖縄県労働基準協会北部支部，建設業労働災害防止協会沖縄県支部北部分会，沖縄県産業保健総合支援センター）が平成29年9月12日に北部会館において開催されました。

北部地区労働衛生管理推進大会は，労働衛生に関する意識を高揚させ，事業場における自主的労働衛生管理活動を通じた労働者の健康確保を図ることを目的に，全国労働衛生週間（10月1日から7日）の準備月間である9月中に毎年開催されているもので，今年度は各企業の代表者や労働衛生管理担当者約90名が参加し，行われました。



- 平成29年度北部地区労働衛生管理推進大会の様子 -



- 参加者へ挨拶を行う 名護労働基準監督署 安慶名署長 -

大会では，最初に，労働災害で亡くなられた労働者の冥福を祈り，1分間の黙とうが捧げられました。

主催者からは，「労使が一体となって健康で快適な職場環境の醸成を目指していく」という挨拶が行われ，当署の安慶名署長からは，「仕事と治療の両立支援対策，メンタルヘルス対策，定期健康診断における有所見率の改善等，取り組むべき課題が多岐に渡るが，本日の大会を契機に，各事業場での取り組みが一層活発化し，生き生きと働きやすい職場づくりを進めていただきたい」という呼び掛けが行われました。

また，特別セミナーとして，「沖縄県の現状と協会けんぽの健康づくりサポート」と題して，北部保健所の桑江沙耶香氏及び全国健康保険協会沖縄県支部の平良啓氏から，沖縄県におけるがん死亡率が高いという統計の紹介及びその背景の説明と，生活習慣病予防健診や特定保健指導の受診勧奨，福寿うちな～健康宣言・ひやみかち健康経営宣言の実施勧奨，等の説明が行われました。

大会終盤では、「心身ともに健康で働けることの重要性を確認し、各事業場において自主的な労働衛生活動の一層の促進を図っていく」とする大会宣言を採択し、その後参加者全員で、平成29年度全国労働衛生週間スローガンの「指差唱和」を行い、今後さらなる労働衛生活動を実施していくことを決意しました。



- 参加者全員による指差唱和 -

- 会場に設置された健康促進に関するリーフレット -